

技術力向上を目指した現場技術事例集（追加版）の作成

四国技術事務所

総括技術情報管理官 柳瀬 晴朗

1. はじめに

昨今、職員数の減少や日常業務の多様化・複雑化等による時間不足のため、従前と比べて施工現場での監督や検査等の経験を積む機会が減少している状況にあり、若手技術者の現場技術力の習得や技術の継承等への対応が課題となっています。

このため、四国技術事務所での実施している職員の技術力習得に向けた現場技術事例集作成・活用等に関する取組について紹介します。

2. 1 『現場の達人』の拡充

若手職員らに対して伝承したい現場施工等のノウハウ・施工上の留意点等含めた体系的な現場技術事例集として、OB・各職員のご協力等により共通編・河川・道路等の各個別編について、合計171題を収集し、平成15年度に『現場の達人』を作成しました。この『現場の達人』については、四国管内はじめ他地整の現場研修等で活用されている中で、その拡充へのニーズ等が高まっています。

その対応の一環として、平成20年度末に、総括技術情報管理官会議の共通テーマの成果から59題を追加し、『現場の達人Version2』として四技イントラに掲載し、引き続き、テーマの追加、活用上の利便性の向上等の取り組みを進めています。

2. 2 総括技術情報管理官会議での現場研修用テキスト作成

総括技術情報管理官会議において、各地整内の各種技術研修資料等の情報共有しつつ、各地整管内の現場研修・業務での活用等のために、各年度毎に設定した「共通テーマ」に基づき技術事例集等作成しています。

なお、平成21年度のテーマは「講師用技術研修支援用テキスト（仮称）」として、「技術事務所内の土木実習モデル」及び土工の事例等を題材として、自己学習等にも役立てられるよう技術的補足、技術基準及び施工上のポイント等の関連資料も包含した現場技術事例集作成中です。

3. 1 『現場技術研修テキスト（道路編）』（仮称）の作成

数少ない現場経験を生かした効果的な技術力向上を目指し、施工事例等に基づき、設計～施工過程での業務の流れ、現場工程及び施工上の着眼点等への意識・理解力が一層重要となります。

このような観点から、現場での技術テーマを抽出し、現場課題解決上の着眼点、チェックポイント及び関連参考資料・チェックリスト等のイントラ上で参照のためのガイド等含めた「現場技術研修テキスト」として、平成21年度は、『現場技術研修テキスト（道路編）』（仮称：案）を作成し（H22.3イントラ掲載予定）、今後さらに多くの現場事例収集等により、その内容の拡充を進めたいと考えています。

3. 1 現場技術事例集等のイントラ上での掲載・活用

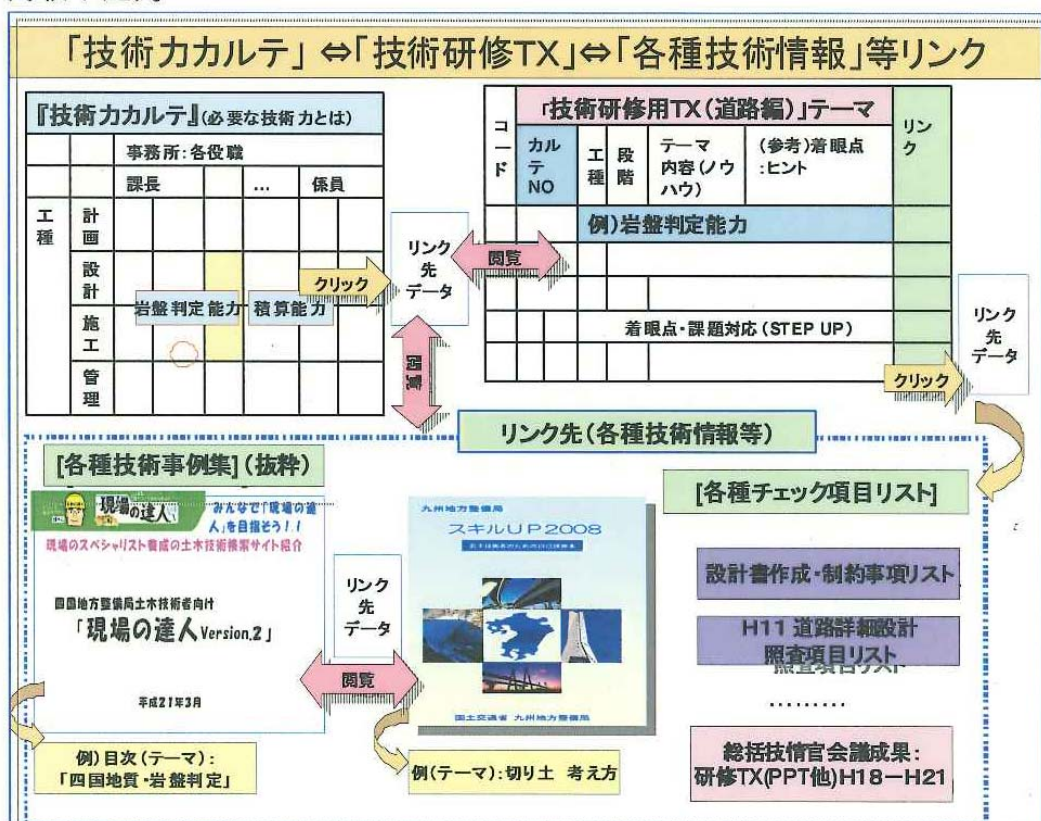
①『現場の達人』（四技イントラのY T I S（検索機能付き）：H17年度から掲載）に続き、総括技術情報管理官会議「共通テーマ」成果（H18-H20）及び他地整の現場技術事例集等を、四技イントラ上のコミュニティーのコーナー内に掲載しています。

（※ <http://192.168.32.10/jimusho/yongi/oshirase/genbakenshu/genba-f.html>）

②「技術力カルテ（案）」と関連づけた技術情報ガイド

事務所の業務等を進める上で、代表工種の各過程（計画～管理）で必要となる技術力及びその習得状況の目安となるよう「技術力カルテ（案）」作成し（四技イントラ：四国技報（H21.1.1）掲載中）、現在フォローアップ中です。

この「技術力カルテ（案）」に基づき、代表的なテーマ等について、技術情報活用の利便性向上を図るために四技イントラ上で、既往の現場技術情報間での双方の関連づけて学習できるよう「リンク情報」を設定した技術情報ガイドの準備中です。（※図-1：「各技術情報間を関連づけたガイドイメージ」。（H22.3掲載予定）。



(図-1:「各技術情報間を関連づけたガイドイメージ」)

3. 2 各種技術情報等活用に向けた事務所内研修等の取り組み

現場技術事例等の活用に基づく技術力向上を目指し、各事務所研修の場等での「技術情報対話」(H21年度前半：H21.6-H21.10 実施)含めて、引き続き、各事務所の現場業務推進に適応するような技術事例集の拡充及び活用PR等進めていく予定です。